

第10回 大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会 議事要旨

1. 会議名称 第10回 大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会
2. 日 時 平成30年2月14日(水) 13:00~14:00
3. 場 所 グランパレホテル(岐阜) 駅前会議室 4階 大ホール
4. 議 題
 - (1) 大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会構成員の変更について
 - (2) 災害廃棄物対策の今後のあり方
 - (3) 災害廃棄物中部ブロック広域連携計画第二版【主体別広域連携計画(案)】について
 - (4) 平成30年度大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会等の開催予定について
5. 出席者
別紙参照
6. 配布資料
 - 資料1 大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会設置要綱(改正案)
 - 資料2 災害廃棄物対策の今後のあり方
 - 資料3-1 災害廃棄物中部ブロック広域連携計画第二版
【自県が被災したときの主体別広域連携計画(案)】
 - 資料3-2 災害廃棄物中部ブロック広域連携計画第二版
【他県が被災したときの主体別広域連携計画(案)】
 - 資料3-3 災害廃棄物中部ブロック広域連携計画第二版
【中部地方環境事務所の主体別広域連携計画(案)】
 - 資料4 平成30年度大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会等の開催予定

7. 議事内容

(1) 大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会構成員の変更について

事務局（中部地方環境事務所） 資料1について説明を行った。

（質疑等） （異議なし）

事務局（中部地方環境事務所） 原案の通り改正する。組織名や役職名等の変更があれば、適宜、事務局まで連絡いただきたい。

(2) 災害廃棄物対策の今後のあり方

事務局（中部地方環境事務所） 資料2について説明を行った。

事務局（中部地方環境事務所） 環境省本省でも災害廃棄物対策についてさまざまな検討を進めているところ。中部地方環境事務所としても中部ブロックでの動きを反映していくことをしていかなければと考えている。みなさまが本省の動きを何かでご覧になったときに、中部ブロックや自治体の動きと齟齬がないように、お気づきの点があれば、ご連絡をいただければと思う。

（質疑等）

名古屋大学 スライド6について、地域ブロックレベルの取り組みの中に「ブロック内連携の推進」という言葉が無いのが疑問に思う。全国レベルでブロック間連携の推進とあるにも関わらず、なぜ「ブロック内連携の推進」が抜けているのかが疑問である。自治体レベルは、KPI（重要成果指標）の目標を立てているので、そろそろ処理計画の策定という言葉は国としては、やめていった方が良い。また、スライド14、15について、そもそもBCPの根本的な考え方は「限られたリソースの中で自分たちが絶対にやらないといけないことは何なのか」をどのように持続あるいは実行していくのかと考え方であるのに、スライドの考え方でいくと、自分たちがやるべき業務を、人や物が足りなければ支援をどんどん受けてやりなさいというような記述に見える。普段の業務で人が減ってきている中で、災害時だからといって、どんどん資源を確保してやりなさいというのは、本来のBCPのコンセプトとは違う。BCPを考える上で大事なことは、できないことはできないと言うこと。仮置場の分別を行政職員がやるのではなく、自治会に分担を頼むことなどを進めていくためのBCPを考えなければならない。そのように考えると、限られたリソースでどこまでできるのか、絶対にやらないといけないことが0番目にあり、その後、どういう業務をどこまでやれるのか、それをやるために必要な業務が足りなければ確保しましょうという基本的な流れであると思う。国交省が下水道BCP等を作っているが、限られたリソースで絶対やらなければいけないことを抽出してやろうとしているので、スライドの考え方とは異なると思う。この図を見ると、みなさん災害廃棄物対策はしんどいということになってしまいかねない。

(3) 災害廃棄物中部ブロック広域連携計画第二版【主体別広域連携計画（案）】について

事務局（PCKK） 資料3-1、3-2、3-3について説明を行った。

事務局（中部地方環境事務所） 広域連携計画は、本文が60ページ以上あるため、発災した際に自分が何をやるかを分かり易くしたいということで、当初、携帯版と考えていた。検討する中で、自分が何をやるかのみでは、相手方が見えないということで、どのようなつながりがあるかということをもとめさせていただいた。これをもとに、みなさまのマニュアルに反映していただければと考えている。

（質疑等） （異議なし）

事務局（中部地方環境事務所） これについては、電子データで構成員の皆さまにお送りして、適宜、加工していただく利用方法を想定しており、ホームページへの掲載も考えている。それでは、今日付で、主体別広域連携計画を策定させていただく。

(4) 平成30年度大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会等の開催予定について

事務局（中部地方環境事務所） 資料4について説明を行った。

事務局（中部地方環境事務所） 福井県のセミナーについては、国体の開催時期を考慮した上で開催となる。三重県も同時期に開催したいと考えている。

（質疑等） （異議なし）

事務局（中部地方環境事務所） セミナーの内容については、今後考えていきたいと考えているが、ご希望等があればお寄せいただきたい。

以上